

## I 地域福祉推進基盤の強化

### 1. 法人運営基盤の強化

地域福祉を推進する中核組織として、関係者の合意を得ながら、財政基盤の強化と福祉人材の確保・育成に取り組み、法人運営基盤の強化に努めた。

#### (1) 法人運営事業

##### ◆ 安定した法人運営

定例の三役会や所属長会議、理事会・評議員会を開催し、変動する地域社会の情勢に対し柔軟かつ的確な対応に努めた。

#### ① 三役会の開催

毎月1回三役会を開催し、法人の円滑な事業運営を図るための協議を行なった。

#### ② 所属長会議の開催

毎月1回各事業所の代表による所属長会議を開催し、各種事業運営に必要な協議を行なった。また、併せて安全衛生委員会を開催し、各職場の安全衛生管理に努めた。

#### ③ 理事会の開催（3回開催）

回数	期 日	内 容		
第1回	5月29日	報告	第1号	欠員に伴う理事の選任について
		議案	第1号	平成25年度事業報告の認定について
			第2号	平成25年度一般会計決算の認定について
			第3号	平成25年度公益事業特別会計決算の認定について
			第4号	平成25年度就労支援事業特別会計決算の認定について
			第5号	小口資金貸付に伴う不能欠損処分について
第2回	9月19日	報告	第2号	欠員に伴う理事の選任について
		議案	第6号	小口資金貸付に伴う不能欠損処分について
			第7号	平成26年度第1次補正予算について
		協議	第1号	社会福祉功労者の選考について
第3回	3月19日	報告	第3号	欠員に伴う理事の選任について
		議案	第8号	小口資金貸付運営要綱の一部改正について
			第9号	平成26年度第2次補正予算について
			第10号	平成27年度事業計画について
			第11号	平成27年度予算について

#### ④ 評議員会の開催（3回開催）

回数	期 日	内 容		
第1回	5月29日	報告	第1号	欠員に伴う理事の選任について
		議案	第1号	平成25年度事業報告の認定について
			第2号	平成25年度一般会計決算の認定について
			第3号	平成25年度公益事業特別会計決算の認定について
			第4号	平成25年度就労支援事業特別会計決算の認定について
第2回	9月19日	報告	第2号	欠員に伴う理事の選任について
			第3号	社会福祉功労者の選考結果について
		議案	第5号	平成26年度第1次補正予算について
第3回	3月19日	報告	第4号	欠員に伴う理事の選任について
		議案	第6号	小口資金貸付運営要綱の一部改正について
			第7号	平成26年度第2次補正予算について
			第8号	平成27年度事業計画について
			第9号	平成27年度予算について
			第10号	理事及び監事の選任について

◆ 寄附採納

① 寄附金 (22件 1,165,809円)

多方面から寄せられた多くの寄付金は、ボランティア基金に積立て、ボランティアセンター運営委員会で使途を協議したうえで取崩し、寄付者の意向を尊重しながら有効活用を図った。

② 寄附物品 (18件)

寄附物品は本会の事業で活用したほか、食品や消耗品等の一部は市内の福祉施設等に配布した。

物品	物品	物品
布団カバー、生地	カラオケ・マイクセット	毛布、座布団
ポータブルトイレ	シルバーカー	カレンダー
紙おむつ一式	毛糸多数	リンゴ20箱
アルミ缶ソフトドリンク	毛布、シーツ多数	車いす、シルバーカー各1台
庭木2本	金のなる木1鉢	門松2本
タオル、日用品多数	車いす掃除セット	缶潰し機、跳ね上げ式車いす

③ 義援金 (4件 271,815円)

各受付期間中に義援金箱を設置し、集まった義援金は各募集機関へ送金した。

◆ 財政基盤の強化

定期監査を実施するとともに、財源確保と経費節減に努めた。

① 定期監査の実施

半期ごとの定期監査を実施し、資産・負債の残高や予算執行状況について確認するとともに、指摘事項改善の取り組みを通じて、適正な業務執行態勢の整備に努めた。

- ・平成25年度決算監査…5月21日(水)
- ・平成26年度上半期監査…10月24日(金)

② 予算執行状況の把握と経費節減の徹底

毎月の所属長会議において、各事業の予算執行状況を確認するとともに、各施設別の光熱水費の前年度対比を確認し、経費節減に努めた。また、以下の取り組みを実施した。

- ・総合福祉センター給湯設備の設定変更
- ・携帯電話の契約見直し

③ 施設・設備等整備計画の策定

昨年度の設備整備等積立金の設置に伴い、計画的な固定資産の取得と維持管理を実施していくための施設・設備等整備計画を策定した。なお、計画には指定管理施設の整備項目についても、自己資金で整備するものと区分して定め、毎年度の予算要求の基礎資料としても活用していく。

◆ 福祉人材の確保

研修機会の確保を通じて職員の資質向上に努めるとともに、職員の健康管理や処遇改善を通じて、福祉人材の確保に努めた。

① 職員研修機会の確保と実施 (延25回)

各種研修会・説明会等への参加を通じて、職員の資質向上に努めた。

② 職員の健康管理、職場環境の形成

各職場における事故防止等の安全確保と、健康診断や産業医による職場巡視を行い、安全衛生管理に努めた。

● 安全衛生委員会の開催 (毎月開催)

● 定期健康診断の実施状況

実施方法	個別健診	集団健診	保健指導
対象者	35歳以上で健康保険に加入している職員	週労働時間20H以上で、個別健診の対象とならない職員	健康診断受診者のうち、生活習慣病の保健指導対象者
期日	10～3月の各指定予約日	8月5日(火)	3月5日(木)
実施場所	市立大町総合病院	総合福祉センター	総合福祉センター
受診者数	87名	31名	4名

● 産業医の職場巡視の実績

事業場	大町市総合福祉センター	八坂総合福祉センター	美麻総合福祉センター	ティ・ビーセンター ひなたぼっこ
-----	-------------	------------	------------	------------------

実施日	10/28、3/10	9/9、1/27	8/26、12/16	7/22、1/20
-----	------------	----------	------------	-----------

### ③ 非正規職員への処遇改善手当の支給

非正規職員の勤労意欲の向上と雇用契約の継続を目的に、人件費等積立金を活用し、勤続手当及び処遇改善手当を支給した。

名 称	勤続手当	処遇改善手当
算定方法	勤続年数に応じた月額（4/1現在） （1年：250円、2年：500円、3年：1,000円、以後1年につき1,000円ずつ加算、最高8,000円）	介護報酬及び自立支援給付費の半期ごとの処遇改善加算総額の8割を、対象職員の労働時間に応じて配分 （6月：82円/H、12月：84円/H）
支給対象者	勤続1年以上の嘱託・臨時・非常勤職員	週所定労働時間が20時間以上の嘱託・臨時・非常勤・登録職員
支給時期	毎 月	6月・12月
支給実績	2,569,680円	9,519,661円

#### ◆ 苦情解決機能の充実

社協の各事業所（13事業所）に苦情受付担当者を配置し、利用者や一般市民へ周知のうえ、福祉サービス利用にあたっての苦情の申し出などに対応した。また、苦情解決責任者と第三者委員（3名）を置き、社会性や客観性を確保しつつ、公明な苦情解決にあたるよう努めた。

#### ◆ 独自給与体系整備

独自給与体系整備に向けて検討チームを組織するとともに、松本大学准教授にアドバイザーを依頼し、検討会や勉強会を開催して検討を行った。検討の結果、これまで大町市との申合せに基づき、大町市の給料表を準用していた正規職員の給与体系について、給与規程細則（内規）を定め、独自の給与体系として整備した。

### （2）会員組織の強化

一般会費（1世帯あたり年額600円）7,750戸、特別会費（一人あたり年額3,000円）750人を目標に、会員の拡大と加入の促進に取り組んだ。会費は、ボランティア団体や地区社協・小地域福祉ネットワーク活動助成等の地域福祉推進活動に活用した。

項 目	実施結果・内容
地域福祉関係者との連携による会員募集	○一般会費 4月に自治会長へ納入依頼文とチラシにより協力依頼 ○特別会費 7月の市民生児童委員協議会の役員会及び全体会において、収納協力を依頼
会費の使途についてのわかり易い広報	○一般会費 「社協おおまち4月号」と自治会配布チラシに会費の使途を掲載し、協力依頼 ○特別会費 「社協おおまち8月号」と会員募集チラシ（特別会費納入と活用方法を掲載）を配布 「社協おおまち12月号」に特別会員名簿を掲載

#### ● 年度別会員別会費の推移（過去5年間） （単位：円）

年度	一般会員（一般会費）			特別会員（特別会費）		
	世帯数	金 額	前年比	人数	金 額	前年比
H22	7,974	4,784,400	97.8 %	748	2,244,000	110.3 %
H23	7,987	4,792,200	100.2 %	754	2,262,000	100.8 %
H24	7,859	4,715,400	98.4 %	771	2,313,000	102.3 %
H25	7,744	4,646,400	98.5 %	766	2,298,000	99.4 %
H26	7,673	4,603,800	99.1 %	771	2,313,000	100.7 %

### （3）赤い羽根共同募金運動推進事業

赤い羽根共同募金は、各都道府県に設置されている共同募金会が実施主体であり、その下部組織として市町村支会が組織され、各地域での募金活動を実施している。市町村支会は地域住民で組織されるが、

公平中立性の高い組織として大半の社協が事務局を担っており、本会も長野県共同募金会大町市支会の事務局を運営し、募金活動を実施した。

項目	実施結果・内容
募金目標額を達成する活動	昨年に引き続き卓上キャラクター募金箱、啓発用ポケットティッシュを活用した募金運動を実施 年末に追加の街頭募金を実施（12/27）
街頭募金の実施	市内大型店2カ所及び、市民ふれあい広場会場内にて実施 旧大町市内の4小学校へ協力を要請し、各校の児童が参加 ○ ザビック大町店（10/4）・・・西・東小学校児童 ○ カインズホーム大町店（10/4）・・・南小学校児童 ○ 市民ふれあい広場（10/11）・・・北小学校児童
広報・啓発	社協報に共同募金の活用内容を掲載（今年度は災害復興への活用） 協力いただいた企業・商店の寄付者名簿を掲載 ○ 社協報第172号（10/1）・・・募金運動開始（地域防災にも活用） ○ 社協報第174号（2/1）・・・募金お礼（大口寄付者名簿）
配分事業の周知	戸別募金依頼の際、募金活用先や活用事業内容を掲載した依頼文を配布行政が行う戸別発送広報紙に合わせて、募金チラシを配布
組織変更への対応	全県的な動向等について、県共同募金会と情報共有

● 募金実績の推移

（単位：万円）

年度	H22	H23	H24	H25	H26
募金額（送金額）	1,022	993	975	979	969

● 平成26年度共同募金配分金の内訳

（単位：円）

配分先		高齢者 福祉活動	障害児・者 福祉活動	児童・青少年 福祉活動	住民全般 福祉活動	合計
ア：地区社協	大町地区	585,090	50,000	260,000	630,000	1,525,090
	平地区	290,000	60,000	220,000	473,284	1,043,284
	常盤地区	513,728	40,000	540,000	310,000	1,403,728
	社地区	433,083	0	60,000	30,000	523,083
	八坂地区	210,000	10,000	40,000	93,300	353,300
	美麻地区	62,000	20,000	45,000	50,325	177,325
イ：市社協		112,544	340,030	0	2,614,654	3,067,228
合計		2,206,445	520,030	1,165,000	4,201,563	8,093,038

● 平成26年度市社協配分金事業の内訳

（単位：円）

事業名	配分金額	事業名	配分金額
福祉団体助成事業	330,000	希望の旅事業	246,030
市民ふれあい広場開催事業	500,000	福祉輸送サービス事業	206,544
社協報発行事業	1,022,954	心配ごと相談事業	63,800
災害見舞金等給付事業	337,900	ボランティアニュース発行事業	360,000
合計			3,067,228

2. 災害時支援態勢の強化

遠隔地社協、大町市、県社協、青年会議所等関係機関との連携や、福祉避難所の運営方法について情報共有や課題の検討を行い、災害時支援態勢の整備に努めた。

項目	実施結果・内容
遠隔地社協との相互応	遠隔地社協との災害時における相互応援態勢について、姉妹都市である氷

援態勢づくり	見市社協に声を掛け、応援態勢の具体的な方法について検討していくことを確認
災害時職員初動マニュアル	職員初動マニュアルの職員参集方法を中心に内部で検討 福祉避難所の運営方法の明確化について、市と協議

### 3. 生活課題の調査・研究

座談会の開催や役職員視察研修を通じ、地域における生活課題の把握に努めた。

項目	実施結果・内容
座談会の開催	<p>○期 日 7月18日(金)</p> <p>○テーマ 高齢者の食を考えてみませんか</p> <p>○内 容 高齢社会となった今、健康で豊かな生活を送るためには食生活は重要な要素。市内にお住まいのご年配の方にお集まりいただき、管理栄養士を司会に座談会を開催</p> <p>○意 見 ・運動は大切だが、早朝食事前に運動することは良くない。 ・粗食とは、少ないおかずで食べるのではなく、いろいろな食材を適量食べること。 ・核家族化もあり、『食』の文化伝承もされなくなっている。</p>
役職員視察研修の実施	<p>○期 日 11月18日(火)</p> <p>○視察先 上田市社会福祉協議会</p> <p>○参加者 17名(社協理事9名 地区社協理事5名 事務局職員3名)</p> <p>○内 容 ・エンディングノートの導入から活用 ・有償福祉サービス事業について ・ボランティア地域活動支援センターについて ・災害ボランティアセンターについて ・ボランティア連絡協議会について</p>

### 3. 公益事業の推進(指定管理施設の管理運営等)

指定管理申請にあたっての経営方針「誰もが安心して利用できる地域に根差した良質な施設経営」に従い、総合福祉センター3施設の管理運営を行なった。

項目	実施結果・内容
良質な施設サービスの提供	<p>○利用者へのあいさつ及び親切な声がけを励行</p> <p>○施設内外の環境美化に努めるとともに緑化活動を実施 市民からの寄贈により、大町市総合福祉センター中庭にモミジを植樹</p> <p>○ホームページや広報により、施設の利用方法等を周知</p> <p>○館内を全館禁煙とし、分煙の徹底と喫煙マナーを啓発</p>
施設の適切な維持管理	<p>○設備の定期点検・保守点検を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・灯油地下タンク気密試験(各施設:年1回)</li> <li>・防災・防災設備点検(各施設:年2回)</li> <li>・電気設備(大町・美麻:年6回 ※八坂は支所で実施)</li> <li>・給排水・空調設備(各施設:年1回)</li> <li>・自動ドア(各施設:年3回)</li> <li>・エレベーター(大町:年4回 ※遠隔点検は毎月)</li> </ul> <p>○特殊清掃(床・窓)の実施(大町:2回、八坂・美麻:各1回)</p> <p>○施設・設備の破損・故障への迅速な対応 大町:循環ポンプほか11件(修繕費:293,349円) 八坂:床暖房コントローラほか8件(修繕費:285,336円) 美麻:循環ポンプ一式交換(修繕費:212,760円)</p> <p>入浴券売機の故障に伴い一般入札を行い、リース契約で更新施設・設備等の計画的整備のため、大町市へ要望書を提出</p>
安心・安全かつ平等な施設運営	<p>○避難訓練・防災訓練の実施(各施設:年2回)</p> <p>○防犯・トラブル防止のため、巡回と掲示を実施</p>

	大町の公衆浴場に関わる事故が3件発生し、うち1件救急搬送、2件は休養後に回復し帰宅
利用者ニーズの把握とサービスへの反映	○大町市総合福祉センター運営懇話会の開催（6/19開催） ○管理日誌による利用者からの口頭意見・要望受付、対応
施設の利用者増加策の実施	○公衆浴場無料開放デーの設置 ・敬老の日無料開放デー（9/14 利用者138名） ・お年玉無料開放デー（1/3 利用者140名） ○年末年始の公衆浴場臨時営業 12/29（10:00～17:00 利用者50名） 12/30（10:00～17:00 利用者93名） 1/3（13:00～17:00 利用者140名） ※ お年玉無料開放デーでは、おしるこの振る舞いを実施
その他施設の利活用等	○1階エントランスホールの市民への開放について、社協おおまちに掲載 ○昭和電工(株)大町事業所からの申し入れにより、3階健康増進コーナーにアルミ缶回収ボックスを設置

● 各施設の利用状況

施設名	項目	開設日数	利用実績
大町市総合福祉センター	公衆浴場	310日	延29,302人（94.5人/日）
	会議室等貸館	359日	延1,988団体（5.5団体/日） 延20,293人（56.6人/日）
八坂総合福祉センター	デイサービス	256日	延4,475人（17.5人/日）
美麻総合福祉センター	デイサービス	256日	延4,003人（15.6人/日）
	会議室等貸館	256日	延1,269人（24.9人/日）

● 公衆浴場利用者の推移

（単位：人）

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
一 般	8,208	7,600	8,943	8,822	7,102
65歳以上	16,726	17,159	18,290	19,099	19,310
障 害 者	2,291	2,481	1,905	2,210	1,844
小中学生	650	869	1,021	1,306	906
優 待 券	—	2,055	1,873	315	140
合 計	27,875	30,164	32,032	31,752	29,302
利用料収入（千円）	6,979	6,974	7,252	7,173	6,474

● 貸館利用団体数の推移

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
貸館利用団体数（団体）	2,013	2,267	2,260	2,268	1,988
貸館利用人数（人）	19,627	19,545	20,554	19,979	20,293

## II お互いさまのまちづくり

地域における支え合いの輪を広げるため、ふれあいのまちづくり事業とボランティア活動推進事業に取り組んだ。

### 1. ふれあいのまちづくり事業

地域における生活課題の掘り起こしと助け合い活動活性化のため、ご近所支え合い事業、小地域福祉ネットワーク事業、地区社協連携強化事業に取り組むとともに、市民ふれあい広場を開催した。

#### (1) ご近所支え合い事業

日頃からの地域住民支え合いが災害時には大きな備えになることから、防災意識の向上と住民自らが

地域を知り、地域の課題に向き合うことを意図して「災害時住民支え合いマップ作成」を推進した。

項目	実施結果・内容
マニュアルを活用したマップ作成支援	○支え合いマップ作成マニュアルを活用した作成・更新説明会の実施 16団体に対し、計18回開催（以下、実施団体） 常盤区長会/美麻地区社協/社地区社協/木崎自治会/大原2号団地自治会/上一住宅自治会/須沼自治会/大黒町自治会/東町自治会/青具自治会/桜田町自治会/大新田町自治会/美麻地区別懇談会/幸町自治会/新行自治会 ○災害対策基本法改正に伴う、行政との調整 期 日 3月10日（火） 担当課 福祉課、消防防災課 内 容 災害時要配慮者名簿とマップ作成について
モデル地域の指定によるマップ作成支援	○4地区で継続的作成を支援し、マップを作成 幸町自治会/大原2号団地自治会/木崎自治会/二重自治会

● マップ作成自治会数の推移 (単位：団体)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
マップ作成済自治会数	3	11	14	15	19

(2) 小地域福祉ネットワーク事業

小地域福祉ネットワークの新規設立の推進と既存ネットワークの活動支援を通じて、地域住民が主体となって取り組む支え合い・ふれあいネットワークの構築に努めた。

項目	実施結果・内容
新規設立に向けた地区説明会の開催	○ネットワーク設立の少ない八坂地区での説明会実施 期 日 4月23日（水） 対 象 八坂地区各自治振興会長 ○目標2地区に対し、3地区で新規設立（以下、新規設立自治会） 八坂地区石原自治会/八坂地区切久保自治会/美麻地区新行自治会
既設ネットワークへの支援活動の実施	○各ネットワークからの要請に基づき、職員派遣及び相談支援を実施 職員派遣 2ネットワーク（高見町、借馬） 相談支援 3ネットワーク（宮本、館ノ内、桜田町）
ネットワーク活動の周知	○「社協おおまち」への記事掲載（4/1発行第169号） ネットワークと自治会等既存地域組織との関係性について、インタビューを通じた周知記事を掲載

● ネットワーク数の推移 (単位：団体)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
ネットワーク数	40	41	42	43	46

(3) 地区社協連携強化事業

市内6地区それぞれの住民が主体となり地域福祉活動を行っている地区社協との連携強化に努めた。

項目	実施結果・内容
地区社協連絡協議会の開催	各地区社協との協議の結果、連絡協議会の開催は見送り、必要な案件については、その都度個別に協議
地区社協役員研修会の開催	○各地区社協会長を対象とした研修会を実施 期 日 6月23日（月） 研修先 宅老所「びすたりライフ」 内 容 宅老所とデイサービスセンターの違い

● 地区社協事務局の運営状況

3地区（大町地区、八坂地区、美麻地区）社協の事務局として、地区社協事業の運営を支援した。それぞれ共同募金配分金、地区社協会費、市社協助成金等の財源を活用し、各地域の特性に応じた様々な事業を企画実施した。（平地区、常盤地区、社地区は、各公民館が事務局）

項目	実施結果・内容
----	---------

<p>大町地区社協</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らし高齢者初夏の日帰りバス旅行(伊香保温泉方面104名参加)</li> <li>・ふれあいいいききサロン (年48回実施)</li> <li>・大町地区敬老会支援</li> <li>・単位老人クラブを対象とした交流事業への補助(1地区 栄町)</li> <li>・単位老人クラブを対象とした運動広場整備活動への補助(1地区 宮田町)</li> </ul> </li> <li>○障がい児・者に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流会の開催(大町西小児童クラブとの交流会 参加者59名)</li> </ul> </li> <li>○児童・青少年に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・三世代交流事業(年3回子どもまつり、保育園わら細工、児童センター)</li> <li>・児童センターまつり共催</li> <li>・単位子ども会を対象とした交流事業への補助(13地区 北原町、山田・北山田町、東中原町、大新田町、三日町、白塩町、中原町、東若宮町、宮田町、桜田町、大原町、南原町、堀六日町)</li> <li>・単位子ども会を対象とした運動広場整備活動への補助(1地区 大原町)</li> </ul> </li> <li>○住民全般に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域福祉ネットワークへの補助(22地区) ・広報紙発行(年2回)</li> </ul> </li> </ul>
<p>八坂地区社協</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○八坂支所との共催事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンの実施(5月～3月 17会場で44回実施 265名参加)</li> <li>・サロンいきぬき体操教室(9回)</li> </ul> </li> <li>○高齢者に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの会(年5回/44名参加)</li> <li>・八坂地区敬老会への協力、助成</li> </ul> </li> <li>○地域福祉、福祉教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・八坂小中学校普及校助成 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校(みさかでお年寄りとの交流、花の苗を作り地域に頒布)</li> <li>中学校(ガードレール磨き、ふるさと清掃、やまびこまつり等)</li> </ul> </li> <li>・ボランティア団体及び各種団体への助成</li> <li>・みさか納涼祭主催(三世代交流 200名参加)</li> </ul> </li> <li>○地域団体との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・八坂地区老人スポーツ大会への協力(7/3開催 144名参加)</li> </ul> </li> </ul>
<p>八坂地区社協</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住民全般に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域福祉ネットワークへの補助(1地区)</li> <li>・広報紙発行(年2回)</li> </ul> </li> </ul>

美麻地区社協	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニあそびり（軽体操・レクリエーション）年35回/延585名</li> <li>・うたごえ喫茶 4回（ミニあそ参加者・デイみあさ利用者）</li> <li>・買い物ツアー 年6回/延15名</li> <li>・一人暮らしの集い 年1回/26名</li> <li>・学校給食食べにいく会 4回/21名</li> <li>・高齢者会食会 年1回/16名</li> <li>・梨嶺美容院 年6回/延37名</li> <li>・美麻地区敬老会への協力 9/12開催 88名参加</li> </ul> </li> <li>○障害者に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あそびり教室 年2回/延19名</li> </ul> </li> <li>○児童・青少年に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・お手伝いし隊 春夏休み 7回延121名</li> <li>・社会福祉普及校補助</li> <li>・子ども会育成会助成</li> </ul> </li> <li>○地域福祉ボランティアに関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロン支援 2各地区で開催</li> <li>・美麻ふれあいまつり 約500名 美麻夏祭りと同時に開催</li> <li>・災害時住民支えあいマップの推進</li> <li>・広報誌の発行 年4回</li> <li>・みあさサポーター養成講座 14名 中条なかちゃん 白嶺視察</li> <li>・住民懇談会 5地区</li> </ul> </li> </ul>
--------	--

#### (4) 市民ふれあい広場の開催

福祉、健康、子育て、生活環境など様々な分野からの参加団体による実行委員を組織し、市内の住民が一堂に会して「出会い」、「ふれあう」ことを目的に、市民ふれあい広場を開催した。

また、市制施行60周年・合併10年記念事業として開催するとともに、東北復興支援イベントを継続実施した。

項目	実施結果・内容
実行委員会組織による企画・運営	4月10日(木) 市制施行60周年・合併10年記念事業担当者会議出席 5月9日(金) 幹事会開催 7月10日(木) 市制施行60周年・合併10年記念事業担当者会議出席 7月11日(金) 第1回実行委員会開催 9月26日(金) 第2回実行委員会開催
ステージ発表、各ブース出展	○開会前イベント おらほのラジオ体操 ○オープニングセレモニー（福祉功労者表彰式） ○ふれあいステージ（8団体）
事業の企画・運営を通じた参加団体同士の連携強化	○市制施行60周年・合併10年記念事業との合同開催 ○東北復興支援イベントとして以下の内容を呼びかけて実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会前イベントとして、おらほのラジオ体操を会場参集者で実施</li> <li>・33ブースに義援金箱を設置</li> <li>・「今が旬！岩手県大船渡さんままつり in大町」及び大船渡物産販売の実施（大町市社協ブース）</li> </ul>

#### ● 参加団体数の推移 (単位：団体)

年度	H22	H23	H24	H25	H26
参加団体数	56	55	60	59	53

## 2. ボランティア活動推進事業

ボランティア活動に誰もが気軽に参加できる環境づくりを推進するため、ボランティアセンターの機能強化とボランティア相互の連携、活動支援を行なった。

### (1) ボランティアセンター運営事業

項目	実施結果・内容
相談・登録・コーディネート	○ボランティアに関する相談、連絡調整、ボランティア登録と情報提供

ネット機能の充実	登録状況 88グループ 6,123人																																																
ボランティアセンター運営委員会の開催	○ボランティアセンターの適正な運営を図るため、運営委員会を開催 第1回 8月26日(火)開催 12名出席 報告事項 平成26年度の取り組みについて 会議事項 寄付金の活用について 東日本大震災復興継続支援について ボランティアセンターガイドについて ボランティア交流研究集会について 第2回 3月3日(火)開催 10名出席 報告事項 平成26年度事業報告について 会議事項 平成27年度事業内容について ボランティア基金の活用について ボランティアセンターガイドについて 災害復興支援について																																																
貸出備品の整備と貸出業務	○ボランティア基金を活用し、貸出備品として「けん引式車いす補助装置ジンリキ」6台購入。総合福祉センターエントランスホールやボランティア交流研究集会に展示し、周知と活用を呼びかけ ○貸出用・福祉体験用車いす9台とシルバーカー3台、福祉輸送サービス送迎用車いす1台を購入 ○貸出備品の延利用件数(単位:件) <table border="1"> <tr> <td>品名</td> <td colspan="2">車いす</td> <td>ポップコーン製造機</td> <td>ポッチャ</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td colspan="2">80(13)</td> <td>11</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>品名</td> <td>テント</td> <td>プロジェクター</td> <td>ワイヤレスアンプ</td> <td>スクリーン</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>1</td> <td>28</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>品名</td> <td>ジンリキ</td> <td>綿菓子製造機</td> <td>小銭計数機</td> <td>アイマスク</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>品名</td> <td>点字器</td> <td>ふれあいの箱</td> <td>高齢者疑似体験</td> <td>ゲーム用品</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>19</td> <td>6</td> </tr> </table> <p>( )内は車いす体験時使用台数</p> ○機材使用実績 <table border="1"> <tr> <td>コピー機</td> <td>団体数 19団体</td> <td>白 3,600枚</td> <td>カラー 463枚</td> </tr> <tr> <td>パソコン</td> <td colspan="3">団体数 8団体 延40回</td> </tr> </table>	品名	車いす		ポップコーン製造機	ポッチャ	件数	80(13)		11	8	品名	テント	プロジェクター	ワイヤレスアンプ	スクリーン	件数	1	28	4	3	品名	ジンリキ	綿菓子製造機	小銭計数機	アイマスク	件数	7	13	2	24	品名	点字器	ふれあいの箱	高齢者疑似体験	ゲーム用品	件数	7	1	19	6	コピー機	団体数 19団体	白 3,600枚	カラー 463枚	パソコン	団体数 8団体 延40回		
品名	車いす		ポップコーン製造機	ポッチャ																																													
件数	80(13)		11	8																																													
品名	テント	プロジェクター	ワイヤレスアンプ	スクリーン																																													
件数	1	28	4	3																																													
品名	ジンリキ	綿菓子製造機	小銭計数機	アイマスク																																													
件数	7	13	2	24																																													
品名	点字器	ふれあいの箱	高齢者疑似体験	ゲーム用品																																													
件数	7	1	19	6																																													
コピー機	団体数 19団体	白 3,600枚	カラー 463枚																																														
パソコン	団体数 8団体 延40回																																																
ボランティアに関する各種保険窓口業務	○ボランティア活動保険の受付 Aプラン:1,185人、Bプラン:500人、天災Aプラン:53人 ○ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償保険等各種保険加入の窓口業務																																																
ボランティアセンターガイドの作成	○ボランティア活動の周知やボランティア相談支援に活用するため、ボランティア基金を活用してボランティアセンターガイドを作成 A3両面カラー刷り 500部																																																
ボランティアニュースの発行	ボランティア活動に役立つ情報の提供や、福祉意識の啓発を図るため、ボランティア情報紙を発行 年6回(奇数月1日発行)全戸配布 9,800部																																																

● ボランティア登録団体数の推移 (単位:団体)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
登録団体数	78	83	84	83	88

● ボランティアニュースの発行内容

号 数	発行日	主な記事
161号	5月1日	・ボランティア塾参加者募集 ジンリキの貸出 点訳本録音図書紹介 ・ボランティア団体登録と助成金について

162号	7月1日	・男性の料理教室、一緒にお出掛けボランティア講座参加者募集 ・希望の旅参加者募集 芸能ボランティア募集
163号	9月1日	・いきいきサロンボランティア講座参加者募集 ・さんままつりボランティア募集 ボランティア活動フォーラム募集
164号	11月1日	・福祉啓発標語募集 ボランティア団体表彰 ・大雨・豪雨災害義援金募集
165号	1月1日	・災害支援ボランティア窓口開設 ボランティア交流研究集会開催 ・リクライニング車いす購入
166号	3月1日	・福祉啓発標語入選作品発表 ・ボランティア活動保険のご案内 ボランティアグループ紹介

## (2) ボランティア活動相互連携事業

項 目	実施結果・内容
ボランティア交流研究集会の開催	開催日 1月31日(土) 会 場 サン・アルプス大町 参加者170人 内 容 活動発表 3人 「支え合い・助け合える地域づくり」 南木曾町土石流災害・神城断層地震から考える 地域交流センター 副代表理事 中橋徹也氏 講演
ボランティア団体相互の情報交換	○ボランティアリーダー研修会の開催 開催日 2月27日(金) 会 場 大町市総合福祉センター大会議室 42人参加 内 容 「脳トレをしよう」 レクリエーションインストラクター 種山正子氏
大北管内ボランティアとの連携	○大北ボランティア活動フォーラム参加 (事前に開催に向けた実行委員会を2回開催) 開催日 10月17日(金) 会 場 おたり開発総合センター 31人参加 内 容 「もっと知りたい!地域の支え合い ~知ろう・学ぼう・やってみよう~」 事例発表 3団体 (ゆずり葉の会、なかちゃん、おたがいさまネットワーク)

(3) 災害ボランティア支援態勢整備事業

項 目	実施結果・内容
<p>神城断層地震への対応</p>	<p>&lt;大町市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○美麻地区の被災宅へ安否確認及びニーズ調査を実施（2回） 1回目 52棟 2回目 56棟</li> <li>○11/27より災害ボランティア相談窓口を開設。ボランティア調整実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談受付 11件</li> <li>・ボランティア受付 43人登録</li> <li>・ボランティア活動件数 9件 活動者数 延17人</li> </ul> </li> <li>被災者宅の片付けやごみの搬出や、アロママッサージの実施</li> <li>○大町・美麻・八坂総合福祉センターに義援金箱を設置し、募集</li> </ul> <p>&lt;白馬村&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県内社協災害時相互応援協定に基づき、災害ボランティアセンターへ職員を派遣 <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間 11/25（火）～30（日）の6日間</li> <li>・人数 延11名</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;小谷村&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県内社協災害時相互応援協定に基づき、災害ボランティアセンターへ職員を派遣 <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間 12/5（金）～6（土）の2日間</li> <li>・人数 延2名</li> </ul> </li> <li>○小谷村のボランティア受付を大町市ボランティアセンターでも実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間 11/25（火）～12/6（土）の12日間</li> <li>・ボランティア受付 62人登録</li> <li>・ボランティア活動者数 延58人</li> </ul> </li> </ul>
<p>東日本大震災復興継続支援</p>	<p>開催日 10月5日（土）</p> <p>会 場 大町市文化会館前広場</p> <p>内 容 ・大船渡市の生さんま1500匹を網焼きし、振る舞う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・義援金の募集（324,305円を大船渡市社協に送金、後日職員が大船渡市を訪れ、大船渡市社協事務局長に目録贈呈）</li> <li>・大船渡市特産品販売（売上金459,500円）</li> <li>・宮古市アビリティセンター軍手販売（売上金20,000円）</li> </ul>
<p>その他の災害時支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県国際課主催の災害多言語支援センター設置・運営訓練に参加</li> </ul> <p>開催日 1月25日（日）</p> <p>会 場 大町市役所東大会議室</p> <p>内 容 災害ボランティアセンターと災害多言語支援センターの情報共有を始めとする連携訓練</p>

### Ⅲ 安心して暮らせるまちづくり

日常生活で支援を必要とする人が、住み慣れた地域で暮らし続けるための各種在宅福祉サービス等を提供し、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、誰もが生きがいをもって「安心して暮らせるまちづくり」の推進に努めた。

#### 1. 生活支援活動の推進

##### (1) 各種相談事業

「一人で悩むより、早目の相談が解決の第一歩です」と呼びかけ、日々の暮らしの中の大小の悩みごとについて、解決の糸口を相談員、相談者とともに見出す相談窓口を開設した。

項目	実施結果・内容
心配ごと相談	○毎月2回開設（前年度月4回） ○年間相談件数：73件（前年比8件増） ○相談内容別：財産に関するもの26件、土地家屋に関するもの23件、金銭貸借に関するもの8件、家族に関するもの6件ほか

##### ● 相談内容（法律相談含む） (単位：件)

相談事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
	生計	土地家屋	家族	離婚	財産	金銭貸借	健康	近隣	苦情	その他	
	0	23	6	2	26	8	1	0	7	0	73

##### ● 相談件数の推移 (単位：件)

年度	H22	H23	H24	H25	H26
相談件数	43	46	49	65	73

##### (2) 福祉輸送サービス事業

一人では公共交通機関が利用できない人（要介護者や身体障がい者等）のための輸送サービスを提供した。

項目	実施結果・内容
福祉輸送サービスの提供	毎週月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 8:30～17:00 ○運行日数・回数 244日・2,064回 ○年度末利用登録者数 138人（うち新規登録者数 39人）
福祉車両の貸し出し	社協会員を対象に、土・日曜日、祝日を中心に福祉車両を貸し出し ○件数 5件
利用方法の検討	①大町で利用時間が重なり運行できる車両がないときに、他の拠点の車両を使い運行 ②利用者の口座振替を推進したが、希望は少なかった
広報・啓発活動	利用方法を「社協おおまち」に掲載し、事業を周知

##### ● 年度末利用登録者数の推移 (単位：人)

年度	H22	H23	H24	H25	H26
利用登録者	252	256	141	115	138

##### ● 拠点別運行回数数の推移

年度	H22	H23	H24	H25	H26
大町	1,788	1,643	1,722	1,641	1,778
八坂	576	668	690	462	162
美麻	569	533	304	234	124
合計	2,933	2,844	2,716	2,337	2,064

##### (3) 日常生活自立支援事業

大北地域の基幹的社協として、判断能力が十分でない方（認知症、知的障がい、精神障がい等）の福

祉サービスの利用援助や、日常の金銭管理等のサービスを提供した。

項目	実施結果・内容
定期的な支援計画の見直し	・3カ月に1度の見直し実施 ・カンファレンス等により支援方法の変更・見直し実施
判断能力低下が著しい利用者の成年後見制度への移行支援	高齢者、障がい者のための成年後見個別無料相談会及び社会福祉士会や司法書士会が主催する成年後見相談会に出席 ○相談対象利用者13名、うち本事業から後見制度への移行者2名
生活支援員の研修	県全体の生活支援員を対象とした研修に出席 ○1期目対象：8月22日(金) 松本市浅間温泉文化センター ○2期目以上：8月26日(火) 松本市浅間温泉文化センター
制度周知の広報活動	利用方法について、「社協おおまち」に掲載し、事業を周知

● 年度末契約者数・年間支援回数の推移

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
年度末契約者数 (人)	55	58	55	59	75
年間支援回数 (回)	2,535	2,884	2,462	2,490	2,204

● 市町村別・対象者別契約者数 (平成27年3月末現在) (単位：人)

対象者	大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	合計
認知症高齢者	19	4	0	5	2	30
知的障がい者	13	0	0	0	0	13
精神障がい者	22	2	0	3	2	29
その他	3	0	0	0	0	3
合 計	57	6	0	8	4	75

※ 松川村はH26より全市町村実施に向けた2年間のモデル社協に指定

(4) 豊かな暮らし応援事業

項目	実施結果・内容
美麻診療所患者輸送業務	○運行日数 139日 (毎週月・水・木曜日) ○年間延利用者数 680人 (平均56人/月)
八坂美麻配食サービス配達業務	○配達件数 (八坂：延110件、美麻：延75件) ○ボランティア数 (八坂：6名、美麻：1名)
高齢期安心生活支援	豊かで自分らしい生活を送るために役立つ講座として、「知って得する相続講座」を開催 ○開催日、内容、参加者数 ・第1回 2月18日(水) 相続の基礎 54名 ・第2回 2月25日(水) 遺言とは 84名 ・第3回 3月4日(水) エンディングノートを書こう 54名 ・第4回 3月11日(水) 成年後見制度と相続税の概要 42名 ○場所 大町市総合福祉センター 大会議室 ○講師 相続手続き支援センター 専任相談員 清水あゆ子氏

● 美麻診療所患者輸送業務年間延利用者数の推移 (単位：人)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
年間延利用者数	824	737	798	842	680

● 八坂美麻配食サービス配達業務利用件数の推移 (単位：件)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
八坂地区	470	638	897	550	110
美麻地区	323	189	181	125	75
合 計	793	827	1,078	675	185

2. 高齢者福祉活動の推進

年を重ねても暮らしに張りのある充実した在宅生活を継続できるよう、生活支援ホームヘルプサービスと生きがいデイサービスを提供した。

### (1) 生活支援ホームヘルプサービス事業

利用者の残存能力を引き出して自立を促し、意欲的な心身機能の維持向上に努めながら、家事援助等のホームヘルプサービスを提供した。

#### ● 生活支援ホームヘルプサービス年間訪問時間数の推移 (単位：時間)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
年間訪問時間数	408	360	420	252	306

### (2) 生きがいデイサービス事業

利用者の心身機能の維持向上に努めながら、生きがいづくりにつながるグループ活動サービスを提供した。

#### ● 生きがいデイサービス年間延利用者数の推移 (単位：人)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
デイみさか	0	20	140	197	139
デイみあさ	397	207	179	148	208
合 計	397	227	319	345	347

## 3. 介護保険事業の推進

利用者、介護者の多様なニーズに応える柔軟性のあるサービス提供に努めた。

#### ● 介護保険収入の推移 (単位：千円)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
介護保険収入	262,290	259,817	257,249	259,378	255,412

### (1) 居宅介護支援事業

「利用者本位」と「自立支援」を基本に、利用者の状況に応じた迅速な対応を心がけ、より質の高いケアマネジメントに努めながら、居宅介護支援サービスを提供した。

#### ● 年間ケアプラン作成件数の推移 (単位：件)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
要 支 援	31	71	111	149	130
要 介 護	989	1,027	1,047	996	933
合 計	1,020	1,098	1,158	1,145	1,063

### (2) 訪問介護事業

要介護・要支援状態となっても、能力の維持向上に努めながら、自立した在宅生活に住み慣れた地域で継続でき、介護者の負担軽減ともなる訪問介護サービスを提供した。

#### ● 年間訪問時間数の推移 (単位：時間)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
要 支 援	2,802	3,271	2,740	3,102	2,695
要 介 護	19,811	18,085	18,081	19,254	18,262
合 計	22,613	21,356	20,821	22,356	20,957

### (3) 訪問入浴介護事業

寝たきり等で入浴が困難な方に、自宅で安心して心地良く入浴していただくことを目的に、心身のリフレッシュと健康維持、また介護負担の軽減に努めながらサービスを提供した。

#### ● 年間延利用者数の推移 (単位：人)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
年間利用件数	135	218	434	494	596

### (4) 通所介護事業

利用者の心身機能の維持向上のため、機能訓練やレクリエーションサービスの充実を図り、また、ニーズに応じた柔軟な利用調整に努めながら、通所サービスを提供した。

● 年間延利用者数の推移（要支援・要介護合算）

（単位：人）

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
デイひなたぼっこ	1,877	1,940	1,952	2,321	2,598
デイこすもす	8,019	6,964	6,607	6,929	6,391
デイみさか	4,157	3,433	3,069	3,594	4,362
デイみあさ	3,628	3,755	4,186	3,986	3,798
合 計	17,681	16,092	15,814	16,830	17,149

4. 障がい者福祉の推進

障がいがあっても、個々の持つ能力を活かし、地域で豊かな日常生活を送るため、障がい理解促進事業、障がい者余暇活動支援事業、障がい者就労支援事業、障がい者地域生活支援事業、障がい福祉サービス事業を実施した。

● 障害福祉サービス収入の推移

（単位：千円）

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
自立支援給付費収入	81,712	85,557	84,989	84,744	81,517

(1) 障がい理解促進事業

障がい福祉に関する情報提供や地域住民との交流会を通じて、地域における障がい福祉の理解促進に努めた。

項 目	事業結果・内容
障がいの理解促進のための情報提供や講座・講演会等の開催	自立支援協議会で勉強会を開催 ①11/13「住民参加型福祉施設なごみ家見学」宮田村 参加者 8名 ②11/22「障害者権利条約を知っていますか？」 池田町総合福祉センター 参加者 66名
市内小中学校の体験実習受入れを通じた啓発活動	・大町市立第一中学校1年3組との交流会 2回（5月、10月） ・大町市立仁科台中学校2年生1名、職場実習受け入れ（9月）

(2) 障がい者余暇活動支援事業

障がいのある方が参加しやすい旅行や交流会の開催、スポーツ大会や音楽会等のイベント情報の提供を通じて、障がい者の社会参加を促すための環境づくりに努めた。

項 目	事業結果・内容
障がい児・者希望の旅事業の実施	9/5 山梨県への旅行を実施。介助スタッフの同行で「信玄餅の桔梗屋」「ハイジの村」で見学や買い物を楽しんだ。 ○ 参加者 48名
知的障がい者の余暇活動支援等の企画	居住市町村や年齢の枠を超え一緒に行動し楽しむことを通して親睦を深める企画を実施。また、普段あまり行かない目的地で様々な体験をした。 11/8「長野市少年科学センター」及び「長野市城山動物園」 ○ 参加者 48名
大北地区障がい者運動会への参加	6/21(土)障害福祉サービス事業所として参加（利用者・職員計 20名）職員付添のもと全競技に参加。競技「大北の合戦」用の小道具を事業所で制作し、当日使用
ピアサポート事業支援	障がいを受容し、自信を取り戻す取り組みや、外出や仲間づくりを支援 ①11/8「障害者権利条約について学ぼう」大町市総合福祉センター 参加者 8名 ②12/14「まつもと 音楽フェスティバル」松本市民芸術館 参加者 8名 ③3/14「いちご狩体験」みはらしファーム 参加者 16名 ④3/4「ピアカウンセリング集中講座」大町市総合福祉センター 参加者 9名

	視覚障がい者に向けた音声パソコンや情報機器の習得講座を実施（経験豊富な講師による自立生活相談を含む） 延参加人数 17名				
重度障がい者外出支援	障がいにより日ごろ外出が困難な方に対し、外出のきっかけをつくるために自宅からの外出を支援 5回実施				
余暇活動の広報・啓発	サンアップル主催のスポーツ講座の広報や、旅行の情報を発信				
● 障がい児・者希望の旅事業参加者数の推移 (単位：人)					
年 度	H22	H23	H24	H25	H26
参加者数	34	40	48	42	48

### (3) 障がい者就労支援事業

障がい者が地域で安心して働くことができるよう、障がい者・企業等双方への情報提供や就業に必要な訓練・実習などを支援し、障がい者の社会参加促進に努めた。

(社会福祉法人信濃の郷が大北圏域障害者総合支援センター内で実施)

項 目	事業結果・内容
障がい者の就労に向けた支援（職業準備訓練、現場実習機会の提供）	○支援対象障がい者数 151名 ○障がい者に対する相談・支援件数 1,283名 ○職業準備訓練及び職場実習の斡旋数 20件 ○就職件数 16件
障がい者雇用についての企業への働きかけ	障がい者短期トレーニング促進事業により、障がい者の短期職場実習（1カ月以内）に係る経費を実習者に支給 ・対象者：障がい者就業・生活支援センター登録者 ・利用者：8名（計62日）実施
公共職業安定所などの関係機関との連携	大町公共職業安定所雇用指導官と連携し、企業訪問を実施
就職後の職場定着支援	障がいを開示して就労している方の就労先へ定期訪問し、事業所の困りごとと在職者の困りごとについて調整を行い、職場定着を図った訪問以外では、就労後スクラム・ネットで面談、電話、メールでの相談支援を実施
障がい特性を踏まえた雇用管理についての事業所への助言	電話、企業訪問、支援会議等により、知的障がい者の職場実習後の雇用検討や、トライアル雇用期間中の精神障がい者の就労状況調査、発達障がい者の雇い入れに向けた調整、高次脳機能障がい者の職場復帰に向けた調整等を実施 相談・支援実施事業所 41事業所
障がい者雇用に関する制度や事例などの広報活動	独立行政法人高齢・障がい・求職者雇用支援機構より、障がい者雇用に関わる制度や事例紹介の情報提供（高次脳機能障がい者と働く精神障がい者のための職場拡大及び職場定着に関する職場改善好事例集等）があり、日々の支援、事業所訪問等により周知

● 大北管内における障がい者の就労実績の推移 (単位：人)					
年 度	H21	H22	H23	H24	H25
就労障がい者数	29	15	16	17	16

### (4) 地域生活支援事業

利用者が安心して生活を送れるよう、保健・医療・地域の支え合い活動などと連携しながら、利用者の能力と生活状況に応じたサービス利用計画の作成、各種相談支援及び生活支援サービスを行なった。

#### ① 障害福祉サービス計画支援事業（スクラム・ネット）

項 目	事業結果・内容
事業実績	○開設日数 244日（毎週月～金曜日） ○年間計画作成件数 37件（平均3件/月） ○年間モニタリング件数 63件（平均5件/月）
特定相談支援事業	・基本相談：障がい児・者やその家族からの相談に対し、関係機関と連携し、地域活動、福祉サービス、社会保障制度の利用等につなげ、自己

	選択・自己決定をしていく過程を支援 ・計画相談：障害福祉サービスを利用される方には、希望される生活像を伺いながらサービス利用計画を作成し、実現に向けて自己選択・自己決定をしていく過程を支援
--	---

● 計画作成・モニタリング件数の推移 (単位：件)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
計画作成件数	—	—	17	12	37
モニタリング件数	—	—	1	43	63

② 大北圏域障害者相談支援事業（スクラム・ネット）

項 目	事業結果・内容
事業実績	○開設日数 244日（毎週月～金曜日） ○年間延相談件数 5,487件（平均457件／月）
来室、電話、訪問等での相談支援	使用できる相談室を複数確保し、スムーズな相談対応を実施
管内町村への出張相談	○池田町4回、白馬村2回、小谷村4回 延相談件数 3件 相談件数が減少しているため、今後ニーズを明らかにして出張相談のあり方を検討
ピアカウンセラーによる相談支援	自らも障がいがある相談員が安心して話ができるような雰囲気作りをしながら対等な立場で話を聞き、その経験を活用した相談支援を実施
一般相談支援事業	精神病院の退院を控えた患者に対し不安を除去し、地域の情報提供や同行しての体験等を実施
当事者団体等支援	地域で自主的に活動している当事者団体や家族会への助言を実施 自立支援協議会当事者部会の活動に協力し、互いの知識増強を図った
自立支援協議会の運営	全体会と各専門部会を組織し、共通の目的に向けた情報の共有と関係者によるネットワークの構築を図った

● 年間延相談件数の推移 (単位：人)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
相談支援件数	5,844	6,545	6,724	6,423	5,487

③ 療育支援事業（スクラム・ネット）

◆ 障害児等療育支援事業

項 目	事業結果・内容
事業実績	○開設日数 244日（毎週月～金曜日） ○年間延相談件数 1,736件（平均144件／月）
乳幼児フォローアップ教室（あそびの教室等）	各市町村で実施されている教室に専門職員が参加し、療育内容や支援の方向性についての助言を実施（各市町村1～2回／月）
ソーシャルスキルズトレーニング（社会生活機能訓練）	松川村、池田町、白馬南小で実施されている SST 教室等に参加し、対象児への直接指導や支援者への助言を実施
ペアレントトレーニング（父母等に向けた子供への関わり方の教室）	池田町で1年を通して開催し、父母等への助言を実施 白馬村での開催に参加し、活動状況を把握
研修会の開催（保育園、学校、施設等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SST についての研修会（4回）</li> <li>・子どもへの関わり方についての研修会（3回）</li> <li>・作業療法士による感覚統合の研修会（2回）</li> <li>・臨床心理士による保護者対象研修会（9回）</li> </ul>

● 年間延相談件数の推移 (単位：件)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
-----	-----	-----	-----	-----	-----

訪問療育等支援事業	569	592	547	506	456
外来療育等支援事業	277	1,023	725	498	1,040
施設支援一般指導事業	550	922	829	972	566

#### ◆ 児童発達支援巡回相談事業

項 目	事業結果・内容
児童発達支援巡回相談事業	各市町村とのスケジュール調整で作成した年度計画に基づき、コーディネーターと専門職員が、圏域内の保育園・幼稚園・小学校・中学校を巡回し、保護者や支援者への相談支援を実施 ○保育園等訪問回数 879件 (月平均73回)

#### ◆ 発達障害サポート・マネージャー事業

項 目	事業結果・内容
発達障害サポート・マネージャー事業	・個別のケースは73件、延310回の相談を実施 ・中学校8校、高等学校4校への巡回相談(延57回) ・県は全国に先駆けこの事業を立ち上げたため、県への事例検討や報告アンケートなどに協力 ・保育園の5歳児相談に向けた保護者研修会講師(3回)

#### ④ 障害者地域活動支援センター事業(ハーモニー・ルーム)

項 目	事業結果・内容
趣味を生かした講座型事業の実施	利用者が張り切って家から出かけられるよう、趣味を生かせる21講座を展開。講座運営に生かす目的で、職員も講習会等に参加
健康づくりのための機能訓練、外出等	機能維持、体力向上を目標に月一回機能訓練講座を実施
地域との結びつきを重視したサービスの提供	市役所市民ホールを借りての作品展示「ハーモニー展」を開催 大町市文化祭、長野県障がい者芸術祭への参加 23名(過去最多)

#### ● 年間延利用者数の推移 (単位:人)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
年間延利用者数	1,360	1,279	1,698	1,633	1,749

#### ⑤ 移動支援サービス(居宅介護事業所)

項 目	事業結果・内容
屋内外における移動困難の軽減	通院・余暇等、希望に応じた支援を実施

#### ● 年間延利用時間数の推移 (単位:時間)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
年間延利用時間数	410	253	214	210	121

#### ⑥ 日中一時支援事業(多機能型障害福祉サービス事業所)

項 目	事業結果・内容
利用者への一対一の支援	利用者1名にサポーター1名を手配して支援を実施 重度障がいの利用者には慣れ親しんだサポーターの配置と増員で支援
登録サポーターの整備	登録サポーター 12名

#### ● 年間延利用時間数の推移 (単位:時間)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
年間延利用時間数	847	656	518	515	603

#### ⑦ いこいの家事業(多機能型障害福祉サービス事業所)

項 目	事業結果・内容				
利用者が安心して活動できる場所・機会の提供	利用者の希望による室内、野外での軽スポーツ、レクリエーション、季節行事など、多彩な活動を提供し、利用者からの相談にも適宜応じた				
● 年間延利用者数の推移 (単位：人)					
年 度	H22	H23	H24	H25	H26
いこいの家利用者数	185	194	213	233	174

### (5) 障がい福祉サービス事業

利用者が安心して自立した日常生活を送れるよう、保健、医療、地域の支え合い活動等と連携しながら、利用者の能力と生活状況に応じた各種障がい福祉サービスを提供した。

#### ① 障がい者居宅介護事業

● 年間訪問時間数の推移 (単位：時間)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
年間訪問時間数	5,386	6,408	6,800	6,581	6,751

#### ② 多機能型障害福祉サービス事業

項 目	事業結果・内容
利用者健康診断の実施	希望する利用者全員の健康診断実施 (35名)
スポーツ、レクリエーション等の実施	○日帰り旅行 (5/23 伊那・駒ヶ根方面) ○中村・吉良コンサート (7/7)
定期受注の確保と新規作業の開拓、営業	信越電装(株)、(株)レヂトン、雷鳥の里本舗田中屋、丸佐食品、(株)メディックス昭和、ホクト(株)、バザール小町、わっばら屋、大町市役所、山岳博物館
短期受注の積極的な受け入れ	ハサイダーラベル貼り、赤い羽根差し込み、労金ティッシュ・チラシ封入、信越電装カレンダー封入・発送、県セルフセンター協議会幹旋の事務用「エコフラットファイル」製造販売、同ロンドロール (トイレットペーパー) 取り扱い事務
自主製品の改良、新製品の開発、販路の拡大	藍染や草木染への工夫も引き続き行い、アースデイ・ウェルフェアトレード等の視察により他事業所自主製品の見学を実施
自主製品販売会の実施	毎月第3木曜日 センターロビー 9:30~15:30

● 年間延利用者数の推移 (単位：人)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
就労継続支援B	5,281	5,013	4,747	3,946	4,496
生活介護	4,469	4,808	4,206	4,960	3,610
合 計	9,750	9,821	8,953	8,906	8,106

## 5. 経済的支援活動の推進

さまざまな事情で経済的に困っている方々が生活意欲を取り戻せるよう、一時的な資金の貸付と生活相談を行なった。

また、火災や自然災害等で被災した世帯に対し、当面の生活確保に必要な支援を行なった。

### (1) 資金貸付事業（小口資金・生活福祉資金）

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯等に対し、経済的自立と生活意欲の助長を図るため、各種資金の貸付と生活相談を実施した。

項 目	実施結果・内容
関係機関と連携した自立支援の推進	貸付相談の都度、行政やハローワーク、まいさぼ大町等関係機関と連携し、相談者の自立支援を図った
定期的な償還指導、償還依頼通知の発送	小口資金では、借受人宅訪問等による償還指導を実施 生活福祉資金では、長野県社会福祉協議会の指導により、長期滞納者に対し訪問償還指導を実施
滞納整理、返済不能金の欠損処分	借受人死亡による親族調査及び行方不明者等の調査を実施 ○欠損処分2件、○延滞利子減免1件
小口資金貸付運営要綱の改正	貸付利子、延滞利子の金利を引き下げる一部改正を3月の理事会・評議員会に提出

#### ● 生活福祉資金貸付状況（平成26年度中）

資金種別	貸付申請		貸付決定		年度末貸付金残高		完済件数	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)		
小口資金（大町市社協）	8	384,929	8	384,929	25	3,670,555	12	
生活福祉資金 （県社協）	総合支援資金	0	0	0	10	3,408,250	1	
	緊急小口資金	2	109,000	2	109,000	14	1,132,735	2
	教育支援資金	1	479,000	1	479,000	18	6,530,736	0
	福祉資金	1	1,380,000	1	1,380,000	14	11,008,798	5
	合 計	4	1,968,000	4	1,968,000	56	21,080,519	8

※ 年度末貸付金残高には利子・延滞利子を含む

※ 完済件数には欠損処分及び延滞利子減免件数を含む

※ 離職者支援資金は総合福祉資金に含む

#### ● 貸付決定件数の推移

(単位：件)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
小口資金（大町市社協）	3	1	4	4	8
生活福祉資金（県社協）	19	22	3	4	4

#### ● 年度末貸付金残高（元金）の推移

(単位：千円)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
小口資金（大町市社協）	1,889,078	1,675,000	1,422,000	1,338,500	1,251,500
生活福祉資金（県社協）	11,724,249	16,289,772	15,055,526	15,705,578	15,951,128

### (2) 災害見舞金等支給事業

市内で発生した火災等の災害により被災した世帯の状況に応じ、災害見舞金・援護物資を支給した。

#### ● 災害見舞金等支給実績の推移

(単位：件)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
寝具支給数（組）	7	0	18	0	5
見舞金支給数（世帯）	4	3	5	0	72
見舞金支給額（円）	18,000	11,000	43,000	0	230,000

#### IV 受け継がれるまちづくり

地域福祉活動を継続的に展開するため、住民の福祉意識の高揚と担い手の育成に努めた。

##### 1. 地域における福祉意識の啓発

広報等による福祉情報の発信や住民参加型啓発活動を通じて、地域住民の福祉意識の啓発活動を実施した。

###### (1) 福祉情報発信事業

項目	実施結果・内容
機関紙「社協おおまち」の発行	年6回（偶数月1日）全戸配布9,800部を発行 「問題提起・解決型」の要素を取り入れ、内容充実を努めた
ホームページの充実と活用	より閲覧しやすいホームページにリニューアルした 各申請書類様式や広報紙等のダウンロードを可能とし、タイムリーな記事の掲載に努めた

###### ● 機関紙「福祉のまちづくり」の発行内容

号数	発行日	主な記事
169号	4/1	(表紙)障がい者作業所自主製品紹介/H26年度事業計画、予算/障がい者作業所自主製品利用者インタビュー/小地域福祉ネットワーク活動紹介/パーソナルサポートセンター開設/社協一般会費のお願い
170号	6/1	(表紙)J I N R I K Iでお出かけ（びすたりライフで利用）/特集！生活支援制度紹介/まいさぼ大町紹介/市民ふれあい広場参加団体募集
171号	8/1	(表紙)ゆずり葉の会 とっちり一座の寸劇「食の大切さ」/座談会「高齢者の食を考えてみませんか」/インタビュー「食について」/大町市総合福祉センター利用について/社協特別会費のお願い
172号	10/1	(表紙)企業ボランティア活動「北陽建設(株)の清掃活動」/特集！災害を地域で考える/インタビュー「地域防災あなたの地域は」/市民ふれあい広場開催について/赤い羽根共同募金について/雪かき支援員募集
173号	12/1	(表紙)大船渡市 サクラ苗木植樹/特集！東北復興支援の状況/共同募金「安心安全なまちづくり公募配分」申請団体インタビュー/社協の1年/特別会費協力のお礼（特別会員名簿掲載）/年末年始公衆浴場利用案内
174号	2/1	(表紙)年男年女25名/特集！白馬村堀之内地区から学ぶ地域防災/インタビュー「今年チャレンジしたいことは」/神城断層地震での支援活動/赤い羽根共同募金お礼（大口募金者名簿掲載）/福祉啓発標語入選者決定/知って得する「相続知識」受講生募集

###### (2) 地域福祉意識啓発事業

項目	実施結果・内容
市民参加型啓発事業の実施（福祉標語募集等）	○福祉啓発標語の募集 応募点数：約300点（小学校から一般まで） 選考委員により19点の優秀作品を選考
顕彰の実施（社会福祉功労者等の表彰）	10月11日（土）開催の市民ふれあい広場オープニングセレモニーにおいて、社会福祉功労者表彰と多額金品寄付者への感謝状を贈呈

○表彰者数（個人9名、団体7団体）

区分	表彰基準	表彰者数
表彰	民生児童委員	1名
	社会福祉事業団体役員	7名
	優良活動団体	2団体
感謝状	多額金品寄付（個人）	1名
	多額金品寄付（団体）	5団体

## 2. 地域の担い手育成

地域住民や市内学校における福祉教育推進の取り組みや地元企業との連携態勢の構築を通じて、地域の担い手育成に努めた。

### (1) 福祉教育推進事業

項目	実施結果・内容
地域への福祉出前講座の実施	○地域等への出前講座 9回 (市立大町総合病院、小地域福祉ネットワーク等) ○高齢者疑似体験、レクレーション指導、ボランティアセンター業務紹介等を実施
小中高等学校での体験講座等の福祉相談支援	○学校への出前講座 小学校6校(延11回)、中学校4校(延6回)、高校1校(延16回) 高齢者疑似体験、車いす、手話学習、点字学習、アイマスク体験ほか ○社協事業を掲載した冊子を市内小中高校に配布し、事業説明と情報交換を実施 ○各学校の総合的な学習の時間に取り組む福祉体験事業についての連絡調整を実施
小中学生及び大人を対象としたボランティア講座の開催	○実施時期 6月～2月 9回 ○受講者数 延86人 実人数 27人 ○内 容 点字、手話、要約筆記、朗読、聴覚障がいの方との交流 車いす体験、盲導犬との交流等
ボランティア講座の開催	○一緒にお出掛けボランティア講座(2回開催、参加者延13人) 「お年寄りと障がい者の支援方法」 「シルバーカー・車いす・ジンリキの使い方」 「高齢者疑似体験」 「ガイドヘルプ体験」 ○サロンボランティア講座(4回開催、参加者9人) 「サロンに役立つレクレーション」 「南京玉すだれに挑戦」 「サロンでボランティア体験」 ○男性の料理教室(常盤公民館で1回開催、参加者7人) 「郷土料理おやきを作ろう」 指導者：ゆずり葉の会

### (2) 企業ボランティア育成事業

項目	実施結果・内容
企業へのボランティアに関する情報発信と協力依頼	○企業のボランティア活動を社協広報紙に掲載し、企業とのつながりを図った
災害時に備えた連携方法の検討	○神城断層地震の際、5企業から災害ボランティア登録をしてもらい、美麻地区及び小谷村で家の片付けやごみの運搬作業を実施

### 3. 地域福祉活動団体の育成

市内で活動する福祉団体が実施する活動に対する相談援助や助成金の交付を行い、地域福祉活動を行う団体の育成を図った。

#### (1) 小地域福祉ネットワーク活動推進事業

新規に設立するネットワークに対し、助成金を交付するとともに、設立までの相談支援を行なった。

項目	実施結果・内容
新規設立ネットワーク活動助成事業	○新規設立ネットワークの申請に基づき活動助成金を交付 交付実績：3ネットワーク 110,286円
ネットワーク活動に関する相談支援	○新規設立希望の自治会に対し、設立までの手続きを始め、設立後の活動内容について、相談支援を実施

#### ● 新規設立小地域福祉ネットワークへの助成金交付実績 (単位：円)

自治会名	ネットワーク名	助成額
八坂地区石原自治会	石原大滝の会	50,000
八坂地区切久保自治会	切久保友愛にこやか会	50,000
美麻地区新行自治会	新行小地域福祉ネットワーク	10,286
合 計		110,286

#### (2) 地域福祉活動団体育成事業

福祉団体やボランティア団体等への助成金の早期交付と活動支援を行い、地域福祉活動を行う団体の育成を図った。

項目	実施結果・内容
福祉団体等助成事業	○効率的・効果的に助成金を活用していただくため、早期交付に努めた ・助成金申請受付 (4/30締切) ・助成金交付決定 (5/7) ・助成金交付 (請求書を受領次第随時交付とし、6月中に交付完了)
公募による新たな助成金事業の開発	事務局で検討し、地域におけるサロン活動等への助成について、共同募金組織改編と併せて整備していくこととした
ボランティア活動振興事業	○ボランティア団体が行う活動に対し、助成金を交付 ・助成団体数：19団体 501,440円 ○助成金申請説明会開催 5月13日(火) 10団体参加
ボランティア活動保険加入助成	○登録ボランティアの活動保険掛金を一部助成 ・1人あたり 140円 1,602人 224,280円

#### ● 地区社協助成金交付実績 (会費財源) (単位：円)

地区名	地域交流事業	啓発活動事業	災害時支え合い活動事業	ネットワーク支援事業	合計
大町	152,000	100,000	0	683,900	935,900
平	100,000	100,000	0	167,500	367,500
常盤	167,000	0	0	180,000	347,000
社	167,000	0	0	169,700	336,700
八坂	80,000	10,000	0	50,000	140,000
美麻	153,000	0	0	0	153,000
合 計	819,000	210,000	0	1,251,100	2,280,100

● 福祉団体助成金交付実績（共同募金財源）

（単位：円）

共同募金活動区分	団体名	助成額
老人福祉活動	大町市老人クラブ連合会	50,000
障害児・者福祉活動	大町市身体障害者福祉協会	35,000
	大町市手をつなぐ育成会	30,000
児童・青少年福祉活動	大町市母子寡婦福祉会	45,000
	大町市子ども会育成連絡協議会	50,000
福祉育成・援助・組織化活動	大町市民生児童委員協議会	55,000
	大町市保護司会	25,000
	大町市遺族会	30,000
	大町市更生保護女性会	10,000
合 計		330,000

● ボランティア活動団体助成金交付実績（会費財源）

（単位：円）

団体名	事業内容	助成額
安曇養護学校大町地区PTA	地域貢献活動（施設花植え等）	24,000
大町市観光ボランティアの会	学習研修活動（ガイド研修）	11,440
大町市婦人会	地域貢献活動（おむつたたみ等）	4,800
大町市朗読グループかっこう	福祉教育啓発活動（朗読図書作成等）	10,400
大町点訳ほたるの会	福祉教育啓発活動（広報誌の点訳）	24,000
シニア大学常盤地区同窓会睦会	地域貢献活動（駅前草刈活動等）	24,000
おきあがりこぼし	学習研修活動（学習会）	16,000
傾聴ボラきくきく	学習研修活動（学習会）	24,000
賛助会大町グループ	地域貢献活動（福祉施設交流等）	12,000
ファミリーサポートバンビ	学習研修活動（子供向け調理実習等）	36,000
ゆずり葉の会	地域貢献活動（高齢者交流会）	40,000
アッサンブレ	啓発活動（障がい者との交流事業）	12,000
大町山岳博物館友の会	学習研修活動（ガイド研修会等）	32,000
おはなしの会「やしろ」	学習研修活動（学習会）	36,000
大町民話の里づくりもんぺの会	啓発活動（講演会）	40,000
市立大町総合病院	地域貢献活動（花植え等）	40,000
アルプスリンゴーズ	地域貢献活動（福祉施設訪問交流）	34,800
アースデイおおまち実行委員会	先駆的な活動（復興支援活動）	40,000
大町映像文化財を残す会	啓発活動（文化伝承）	40,000
合 計（19団体）		501,440